

# まちの地域力

宝城団地避難訓練  
(宝城北区、宝城南区)



## ～自主防災編～

宝城団地は、高齢化が進んでおり、災害時に一人では避難できない人が今後必ず増えてくるのが地域の防災課題の一つだと認識しています。

そこで、昨年度に引き続き、11月4日に宝城北区と宝城南区が合同で水害を想定した避難訓練を実施、住民300人が参加しました。市は、水防本部を設置し、三井消防署、小郡警察署および消防団との連携の強化を図りました。宝城団地は、昨年の訓練の反省から情報伝達網を見直したため、避難勧告が発令されると、迅速な情報伝達と避難行動を起こすことができました。

なお、宝城南区では、自主防災組織を設立し、積極的に防災活動に取り組んでいます。

## 今回の訓練のポイント

被害を防ぐには、**自助**(自分の命は自分で守る)と**公助**(市や消防などの公的機関からの支援)はもちろんのことですが、**共助**(自分たちのまちは自分たちで守る)が特に重要となります。避難訓練にむけて勉強会を実施し、危険箇所の確認・避難経路の見直しを改めて行い、さらに、避難に時間を要する災害時要援護者の支援者を複数人決めて、支援体制の強化を図りました。

## 自主防災活動



図上訓練と災害時要援護者の支援などについて勉強会を行いました。自分たちの地域の特性・強み・弱みを知り、災害発生時の対応や事前の取決めを考え、避難経路の見直しを行いました。



支援者は避難準備情報発令とともに、災害時要援護者宅へ行き、避難支援を行いました。



避難勧告が発令されると、各組に分かれて周囲の安全に気をつけながら、集団で避難しました。

## 共助 減災

### 公助

- ・ 避難勧告等の発令
- ・ サイレン吹鳴
- ・ エリアメール配信
- ・ 避難所開設
- ・ 警戒活動  
(三井消防署・小郡市消防団)
- ・ 避難誘導(小郡警察署)



### 自助

- ・ 非常用バッグの準備
- ・ 安全な服装での避難



住民は、日ごろから備えている非常用バッグを持って、避難しました。